

菊友会報

第112号

2024年(令和6年)1月1日

発行=菊友会

編集=広報委員会

HP

<事務局> 東京都千代田区九段北 2-2-1

千代田区立九段中等教育学校内(〒102-0073)

TEL (03)3263-2448 / FAX (03)3263-1033

Web Site -- <https://www.kikuyukai.com/> Mail Address -- info@kikuyukai.com

新春座談会

母校100周年とこれからの菊友会

菊友会員の皆様、明けましておめでとうございます。

今年4月に母校が創立100周年を迎えます。菊友会も新しい年を迎えるにあたり、5年後の菊友会創設100周年に向けて、これまでの歴史を踏まえた上で、時代に合わせた同窓会の形と運営を日々考えていかなければなりません。新年号発行にあたり、伊藤ユリア理事長と3人の副理事長で新しい菊友会の未来について座談会を行いました。(文責 百束英二・高25)

伊藤理事長：コロナ禍が3年余り続き、菊友会の行事もようやく昨年から4年ぶりに以前と同じように開催できる状況になりました。そんな中でこの春に母校が創立100周年を迎えることとなりますが、菊友会の運営にあたる皆さんから、これまでの菊友会運営で良かったこと、改めるべきことなどを伺いたいと思います。

鈴木副理事長(会計委員長)：私はこの5年間会計委員長も兼ねてきましたが、同窓会の資金的な問題点として維持会費の納入率が極めて低いことがあげられます。菊友会運営に十分な余裕があるという状況ではありません。したがって、理事会で限られた資金の活用方法について十分な議論をする必要があります。これまで定常的に発生している各行事費の見直しも必要ですが、「もっと母校の生徒を直接応援するような施策を導入すべきだ」統括校長の野村先生のおっしゃる『将来を見据えてグローバルリー



左から百束、鈴木、伊藤、中井の各氏

ダーを育成する』ことにもっと具体的に貢献すべきだ」というような意見が毎年のように挙がりながら、そちらに振り向ける原資が乏しいのも実情です。ということで、理事会でも入会金や維持会費の集め方にもっと若い世代のアイデアを出してもらい、菊友会が安定的に続くように工夫することを願っています。

百束副理事長(広報委員長)：私も鈴木さんと同じことを考えてきましたが、実際に同期会などで感じるのは同窓会というものが卒業生や母校の生徒、保護者にとってどういう意味があり、必要性をどう感じてもらえるのか、もっとコミュニケーションの工夫をすべきだと思います。必要と思わなければ積極的に会費を納めようという気にはなりにくいですからね。

コミュニケーションの実際は、2020年に会報のあり方が理事会で議論され、ホームページと連携した編集をすることでだいぶ改革できたと思っています。しかし、まだ会員全体を見ると菊友会の「メディア」として会報およびホームページに親しみを感じている人が少ないのではないかと感じています。

中井副理事長(情報委員長)：「コミュニケーション」の問題という指摘がありましたが、その前に同窓会としての活動自体がもっと会員が参加したくなるような魅力ある内容になっているのかを検証し、会員の意見を取り入れながら改革して行くことが先決だと思います。今年の3月24日に開催する

「尽性園桜まつり」は、菊友会大会や至大荘懇親会などのこれまでの菊友会行事とは全く異なった新しいスタイルの新企画です。この行事が、今後の菊友会行事の新しい主役になることを期待しています。

また、在校生を直接的に支援し、グローバルリーダーを育成するという母校の目標を達成するための一助となるには、具体的にどのようなことをすればよいのかを考えることも理事会が優先的に取り組むべき課題だと思います。そのためにも「コミュニケーション」の重要性を理事会と会員が相互に理解しあい、実行に移すことが重要だと思います。

2020年6月に全面刷新した現在のホームページは、様々な工夫をして使い勝手を良くし、情報や写真や動画の掲載量も大幅に増やしました。ただ、まだ即時性や双方向性というインターネットの持つ特性を生かすまでには至っていません。会員相互の「コミュニケーション」を担うメディアとしてのホームページの更なる戦力向上が情報委員会の今後の課題だと思っています。

伊藤：過去の活動を振り返ると学校群制度の改廃や中等教育学校への転換時に菊友会は大きな役割を果たしてきました。東京都や千代田区、政治家の方々などにも説明・交渉をして「時代」に対応した動きをしてきた歴史もあります。

中井副理事長が言うように、若い世代の会員や在校生や母校自体に貢献できているか、楽しめる同窓会になっているか、そう

2024年度菊友会行事カレンダー

- ＊ 3月24日(日)
尽性園桜まつり
 - ＊ 4月17日(水)
春の菊友ゴルフ大会：石坂ゴルフ倶楽部
 - ＊ 5月18日(土)
評議員会
 - ＊ 8月24日(土)～25日(日)
至大荘懇親会
 - ＊ 10月13日(日)
菊友会大会：ホテルグランドヒル市ヶ谷
 - ＊ 10月27日(日)
第32回東京校歌祭：杉並公会堂
 - ＊ 11月13日(水)
秋の菊友ゴルフ大会：佐倉カントリー倶楽部
 - ＊ 11月24日(日)
関西菊友会総会：大阪キャッスルホテル
- ◇ 高26回 卒業50周年記念同期会 開催年
◇ 高51回 卒業25周年記念同期会 開催年

なれるのかを常に見つめることが必要ですね。もちろん今までの菊友会活動を支えてくださっている会員の方にもさらに満足していただけることは当然として。

百束：「同窓会」というと今の在校生には想像しにくい世界かもしれません。伝統継承ホームルームなどを通じて母校や菊友会の歴史を伝えることも重要ですが、若い人が将来社会で羽ばたくための道標を示したり、卒業直後から関心を持ってくれるような、彼らが身近に感じられるイベントなどを新たに企画・立案することで、生涯を共

に歩み支える同窓会というイメージとメッセージが必要かもしれません。

鈴木：その通りですね。そして会員が自ら菊友会を支えようという気になって初めて「会費納入率の向上」に繋がるのだと思います。その意味で今年を新たな菊友会への脱皮を図る初年度として、倦まず、弛まず、粘り強く、菊友会活動の全般にわたっての改善・改革に向けて一歩踏み出す年にしたいところです。

伊藤：本日の議論を受けて、菊友会として「至大荘行事」に代表されるような、母校の

生徒が「九段の伝統」を体感する機会を維持・発展させること、積極的に会員に呼びかけて行事の参加者を増やすこと、保護者の皆さんにも「九段の伝統」を理解してもらうよう努力すること、さらに「尽性園桜まつり」のような新しい行事を計画・実施し、特に若い会員が参加しやすい環境づくりを進めていきたいと思えます。

母校の創立100周年を機に、また5年後の菊友会創設100周年を目指して、今年からさらに菊友会の活動をより活発に、より深化させてまいります。

九段伝統の至大荘行事！4年ぶりに復活！！

今年100周年を迎える九段校の長い歴史の中で、太平洋戦争中の一時中断と2011年の東日本大震災の年の中止を除き、九段生は皆至大荘行事を経験してきました。そんな九段の伝統である至大荘行事が、新型コロナウイルスにより3年連続で中止となり、九段中等の14～16回生(現5年生)が至大荘行事を経験できませんでした。至大荘行事は、真の意味で九段の伝統を継承する最重要行事であり、昨夏4年ぶりに復活できたことは、現役生徒にもOB・OGにとっても、意義深い価値あることでした。

昨夏は、コロナを考慮し男女を前後期の2つに分け、更に例年より2日短い2泊3日の日程で実施されました。

また、前年経験できなかった5年生の希望者も参加し、計141名の生徒に教師・医師・看護師・游泳助手など計70名も加えて行われました。

至大荘行事初日お昼前、游泳助手が堤防上に整列して迎える中、生徒たちは至大荘に入ります。養気閣で持参のお弁当を食べた後、ドォーンと轟く太鼓の音と共にいよいよ游泳訓練開始。短縮日程のため2日目午後の遠泳本番を目標に、例年より強化された練習が初日から繰り返されました。まだ守谷の海に慣れない生徒たちでしたが、皆よく頑張っていました。

2日目は早くも午前中が遠泳の予行練習、そして午後には遠泳本番。朝から泳ぐ距離を徐々に伸ばしていきます。最長距離を泳ぐ第1グループは例年は隣の興津湾から守谷湾までの大遠泳となりますが、今回

は守谷湾と至大荘の見える芙蓉が浦沖を泳ぐやや短いルートになりました。

【前期の様子(7月31日～8月2日)】

前期は女子生徒のみで行われました。初日と2日目の午前中は天候も良好、游泳訓練は順調に進みました。しかし昼食が終わったころ、快晴だった空が急に激しい雷雨となり、遠泳本番である午後の予定が全て翌日へ持ち越しとなりました。急遽空白になった午後でしたが、養気閣で助手の皆さんが企画した班対抗腰帯りレーや至大荘クイズ大会を開催、その後は雷も通り過ぎて快晴となった芙蓉が浦の広場でのスイカ割りど、いつもの違う形でコミュニケーションを深めました。3日目は帰京する午前中ギリギリのタイミングまで遠泳の本番が行われ、全行程を無事に完了することができました。

【後期の様子(8月3日～5日)】

後期は男子生徒のみで行われました。3日間真夏の青天に恵まれましたが、2日目遠泳本番の第1グループは出発してから強風にあおられ予定よりも短い遠泳になりました。大遠泳の醍醐味のひとつでもある沖から至大荘を眺めることはできませんでしたが、皆最後まで力強く泳ぎ切りました。

第2～第4グループで挑戦する生徒たちも、仲間が応援の気持ちを



持って浜で歌う「至大荘歌」や「至大荘と共に」に力と勇気をもらい、それぞれの遠泳目標を達成していました。

生徒たちは九段の伝統である至大荘を無事終えることができ、またひとつ九段生としての確かな自覚を培ったことと思えます。野村統括校長先生をはじめ多くの先生方や卒業生でもある游泳助手のみなさん、そして地元関係者を含むたくさんの支援者のお蔭で3年間中断を乗り越えて復活した至大荘行事を嬉しく誇らしく思います。とともに、今年はコロナ前と同じく4年生全員が一緒になって4泊5日の日程で大遠泳を経験できることを切に願っています。

(高田明夫・高32、佐々木幸一・高38)



至大莊懇親会 4年ぶりに再開！

至大莊ゴルフ大会

8月26日(土)、勝浦東急ゴルフコースにおいて、コロナ禍で中断されていた「至大莊ゴルフ大会」が、至大莊懇親会と合わせて復活開催されました。

新ペリア方式での優勝は村山勉さん(高19)でした。おめでとうございます！

今大会でのハイライトは赤司久雄さん

(菊友会顧問、高15)が76打のエージシュート達成されたことです。菊友会のレベル、恐るべし！

参加の皆さんも気のおけない仲間と楽しまれたことと思います。

青年諸君、今年の夏も至大莊に集まって游泳やゴルフを楽しみましょう。

(百束英二・高25)



至大莊懇親会

昨年8月26日(土)、27日(日)、コロナにより中断していた至大莊懇親会を4年ぶり開催。今回の参加者は総勢61名と前回からは大幅減となりましたが、その分密度の濃い懇親会となりました。

初日は、守谷浜での海水浴を楽しもうと午前中から来荘するご家族もおられました。午後1時の受付開始後は続々来荘、それぞれのお部屋で、あるいは浜に出て夕食懇親会までの間、自由に寛いでおられました。

18時からの養気閣での夕食懇親会は、伊藤直司理事(高27)の司会、百束副理事長(高25)の開会挨拶で始まりました。赤司顧問(高15)から、至大莊行事に多大な貢献のあった森彰英氏(元一游会会長、高7)の逝去の話があり、皆さんで黙禱を捧げたあと、原田会長(高21)による乾杯で賑やかにスタートしました。

会後半にはビンゴゲームで大いに盛り上がり、最後に校歌と至大莊歌を全員で合唱して夕食懇親会を終えました。

その後は、芙蓉が浦に面した前庭での花



火大会で再び盛り上がり、満月で美しく海面に延びた「月の道」を堪能後、養気閣に戻り夜遅くまで2次会に花が咲きました。

2日目は初の試みとして、朝6時から地元の漁師や住民の方々と一緒に守谷の浜清掃に参加しました。我々九段生の誰もが守谷の浜で大遠泳を泳ぎ切った達成感を味わい、九段の伝統を体験してきました。その思い出ある浜を守る地元の活動に参加できた充実感で、清々しい気分です。2日目をスタートしました。6時半から前庭でラジオ体

操を実施、7時からの朝食後の自由時間では、有名な勝浦の朝市に出かける人、海で水遊びを楽しむ人、部屋で休む人などそれぞれに至大莊を満喫していました。

天寮前で子どもたちにスイカ割りを楽しんでもらったあと、至大莊懇親会の最後の締めとして、11時からのBBQパーティーを存分に楽しみ、集合写真撮影後、来年もまた至大莊に集まろうと約して4年ぶりの至大莊懇親会はお開きとなりました。

(中井健一・高27)



ビンゴゲーム



スイカ割り



BBQパーティー

至大莊、嘘のような本当の話

2日間の至大莊懇親会は片付けが終了して先輩たちも帰ってしまい、気が付けば私が最後の一人でした。誰もいない夏の至大莊はセミの声と風と波の音しかしない、心地よい好きな時間でありました。あとは帰るだけなので、地元「丸丸」の兄ちゃんを呼び出して養気閣の山側の階段に座りしばし雑談タイム。

すると品川ナンバーのkmタクシーが至大莊入口のトンネルを抜けて、獄えい寮の前に停まりました。なんだなんだ、何が来

た？と2人で喋っていると、タクシーから降りてきたのは何と昨日仲間会うんだと来てその日に帰った高21回の内田明さんでした。東京からタクシーで来るなんてよほど大切な物を忘れたのかと思い、どうしたのかと駆け寄ると73歳の大先輩は「誰かに会いたかったんだよ〜、ここに来たかったんだヨ〜」と泣き崩れてしまいました。「誰か??？」よくよく話を伺うと、自宅に14匹の猫をボランティアで保護しているから泊りの旅行ができないそうで、昨日

は日帰りしたけど同期の仲間に会いたくなってまた来ちゃったそうです。なんでも高21回生で作る「あおねこ会」の「夏場所」を毎年この至大莊懇親会で開催しているのだそう。行きのタクシーで仲間に電話をしたけど皆既に帰りの電車で、至大莊まで戻って来いと言ったが一蹴されたそうです。それでもまだ誰かしらいるだろうと来ちゃったとのこと。後部座席を見ると案の定、日本酒の小瓶が数本転がっていて、既に気持ちよくお酔いになられています。折角来たのだから案内してくれ！と言うので、千鳥足でヨロヨロの先輩の昔話を聞きながら荘

内をグルッと歩きました。タクシーの運転手さんは20歳過ぎの若い女性でしたが、あなたも来いと言われて4人で一緒に周り、なぜか彼女のスマホで所要所、みんなで記念撮影をしました。その後も内田先輩はず〜と喋っていて帰る気配がないので、最後は少々強引にタクシーに押し込んでしまいました(ゴメンナサイッ!)。メーターをのぞき込むと40,800円と表示されていました。

さらに嘘のような話ですが、ドライバーの女性が「私の母が九段高校の卒業だったと思います」なんて言い出しました。詳しく聞いてみると、なんと私と同学年でしかも高3のクラスメイト田代(現姓:小野口)道

子さんでした。何という奇跡!目が飛び出しました。

そしてまだその魔法のような幻想的な空気の中、彼女が運転するタクシーは颯爽と至大荘を去って行ったのでした

後日お話したときに内田先輩は、「大切な仲間を至大荘に忘れてきたんだよ」とおっしゃっていました。

2か月後の10月。これまた奇跡のタイミングですが学年の同期会が7年ぶりに開催されました。「久しぶり!」と交わす間もなく彼女の母、田代さんと腹を抱えて笑い合ったのは言うまでもありません。

それにしてもあの時私一人だけで

も居てよかった。いや、いない方が良かったか?

至大荘って不思議な力がありますよね。そんな嘘のような本当の話でした。

(佐々木幸一・高38)



左から内田明さん、運転手さん、飛び入り参加の元管理人の鈴木さん、佐々木幸一 撮影:「丸八丸」

九段祭 突撃取材 「菊友会です、ちょっとお話いいですか？」

秋晴れの9月16日(土)、17日(日)、九段祭が開催されました。今年は4年ぶりにだれでも入場できる通常開催となりました。

まず驚いたのは、九段生の溢れんばかりの活気と来客の多さ!九段生は全員、所属の部活やクラスの揃いのTシャツを着用。私たちの時代にはなかった。これだけでも一体感が出てうらやましいと感じました。その中で、ダンス部5年生女子2人にインタビュー。今回の九段祭を説明してくれました。「1年生から3年生はモノづくりの展示や合唱コンクールで参加。4・5年生はそれぞれ趣向を凝らした演目で参加、あとは有志団体としてダンス部やマルチメディア同好会など14団体が参加しています。」クラス発表と有志発表、忙しいけれど楽しそう。お二人もいきいきと目を輝かせ、まさに青春!爽やかな表情でした。

では、早速、活動を覗いてみましょう。おっ、何やら賑やかな部屋が。「囲碁将棋部」?物静かなはずだと思いましたが、対局の順番待ちの人もいて大盛況。20面近く並んでいる盤のうち、囲碁は一組だけであとは全て将棋!第二の藤井聡太君が現れるのか?楽しみます。



次は「書道部パフォーマンス」。別会場の「書道展」と違い、剣道場に十畳程の用紙を広げ、巨大な筆にたっぷりの墨を含ませ、豪快にして丁寧に一字一字書き進みます。【夜半の月の如く 初志を貫き 極めた道自ら楽しみ 創造にあふれた 新たな挑戦へ 進】

最後にひときわ大きく「進」の字を書き終わると、観客から大きな拍手が。未来に羽ばたく九段生の明日を目にした感がありました。パフォーマンス後の男子部員に聞いたところ「自分が練習してきたことを見てもらえるのが楽しい。練習も楽しい!」と上

がった息の中で満足の表情でした。

見物していた男性は中等12回卒のOB。ご両親と祖父母の5名で来場。お父さんも九段OBとのこと、この男性の在校中はコロナ禍もあり、今回初めて九段祭に来場とのことでした。ご家族は口々に「迫力に圧倒されました」「すごかった」との感想を。

体育館では吹奏楽部「九段ウインドオーケストラ」の演奏会。600席ほど用意したそうですが、満員で立ち見客が壁ぎわにずらり。演奏レベルの高さはもちろん、照明やMCあるいはダンス等の演出にも凝り、見ていてとても楽しかったです!

懐かしい「YMCA」は、情熱や若さをイメージしたのか、赤色をメインとした照明担当は、とにかくノリノリ!聞けば6年生すなわち高3の応援部隊とのこと。そう教えてくれたのは、後方で特に盛り上がっていた2人組。彼らは卒業したばかりのOBで、きれいな銀髪の青年は現役時代トロンボーンだったそう。お連れのご友人は大学でも吹奏楽を続けているそうです。

約60名の吹奏楽部員の保護者のお一人にインタビューすると「部活を楽しんでいますよ!」とのことで、現役生もOB・OGも保護者も、一体感のある演奏会でした。

来年のお子さんの受験候補先の下見でご来場の親子連れにもお伺いしました。親御さんは「とてもまとまりを感じました」と。小学生の男の子は、「迫力があって楽しかつ



た!」とのことでした。ぜひ君も、来年はこのステージに!

全体に、小学生のお子さんを連れた親子連れの来場がとても目立ちました。中には「公立で中高一貫教育は珍しい」と、明確にそのメリットを指摘する親御さんも。文化祭という行事が、オープンキャンパスの役目を果たしていることを痛感しました。今回の九段祭をご覧になれば、「個性を尊重しながら団結の力を見せる」九段の伝統を感じ取っていただけたはず。とても爽やかな気持ちにさせてくれた九段祭、秋の一日でした。(伊藤直司&伊井希志子・高27)

吹奏楽部 第16回定期演奏会

日時: 2024年3月20日(祝・水)
会場: 板橋区立文化会館(13:30開演)
入場無料、座席予約などの詳細は九段中等HPに掲載予定



菊友会大会、4年ぶりに通常開催！

10月22日(日)の午後、令和5年度菊友会大会をホテルグランドヒル市ヶ谷で開催しました。伊藤直司理事(高27)の司会により開幕。伊藤ユリア理事長(高24)の開催挨拶、原田忠禮会長(高21)の主催者挨拶に続き、ご来賓の九段中等教育学校の野村公郎統括校長とP.A.の岡野誠会長からご挨拶をいただきました。

第1部は、オランダ駐劔特命全権大使を務められた外交官の猪俣弘司氏(高24)による特別講演「外交の世界」。外交の基本から現場まで、ご経験を踏まえた興味深いお話に一同感銘を受けた様子。

第2部の懇親会は、赤司久雄顧問(高15)の乾杯で華やかに開宴。最年長の高4回高野光正氏、関西菊友会から松原利之氏(高10)、最年少の藤島水河氏(中等9)がそれぞれ登壇の後、昨春黄綬褒章を受章された江戸組紐の匠、福田隆氏(高31)をゲストに、氏の活動を映像を交えご紹介。次いで、諸先輩からご提供の豪華景品が当たる福引を実施、伊井希志子理事(高27)と佐々木幸一理事(高38)の軽快な進行で大きな盛り上がりを見せ、その勢いそのまま校歌・至大荘歌を声高らかに歌い上げました。ここで山崎幹彦副会長(高21)から閉会のご



挨拶を頂戴し、ゲストの福田氏の音頭で江戸三本締めでのお開きとなりました。

以上、4年ぶりに通常開催なった菊友会大会は、総出席者89名、うち菊友会員83名、来賓6名で大盛況の裡に終了、次回、同会場での再会を約しての散会となりました。(篠原慎一・高27)



■ 関西菊友会総会開催

11月5日(日)、大阪キャッスルホテルにて開催。高4回から41回まで、東京から原田会長、赤司顧問、中井副理事長、高野元会長、横田元理事も参加。

松原利之氏(高10)の司会で、桜井市纏向(まきむく)学研究センター所長の寺沢薫氏(高21)の講演「卑弥呼とヤマト王権～私の邪馬台国論」では西暦200年頃の史実に基

づいた非常に興味深いお話を伺うこともでき盛会でした。関西菊友会幹事の湯浅良男氏(高14)からは以下のメッセージを頂戴しました。「4年ぶりの総会に35名の方から参加の意思をいただいた時、皆さんが関西菊友会へ寄せる強い思いを感じました。総会も会の趣旨である『遠く離れた関西の地で楽しく交流する』の通り、和やかな雰囲気にもまれ、二次会もなんと22人の参加、

素晴らしいの一言です。」
(平野清一・高30)



■ 尽性園で桜植樹式を実施

3月24日(日)の第1回尽性園桜まつりを記念する桜植樹式を、一足早く昨年11月29日(水)に実施。菊友会から理事多数が列席し、シダレザクラ1本を植樹。今後、毎年1本ずつ桜の植樹を計画、尽性園の桜の充実を図ってまいります。

(中井健一・高27)



❁ 尽性園桜まつり、今年は雨天決行！

昨年3月、菊友会トライアル企画として計画した尽性園桜まつりは、雨天のため中止となり250名を超える事前参加登録の皆様には大変残念なこととなりました。今年は正式な菊友会新企画として3月24日(日)に開催します。参加費大人2,000円、子供1,000円で、焼きそばや焼き鳥などの食べ物・ビール・ソフトドリンクなどをご提供します。また、本年3月卒業の中等15回の皆さんには、菊友会歓迎イベントとして500円で参加いただけるようにします。もちろん晴天ならピクニック気分で尽性園のお花見をお楽しみいただけます。万一雨の場合も「雨天決行！」を合言葉に尽性園の哲明寮(体育館、食堂、宿

泊施設)を活用し楽しんでいただけるゲームやビンゴ大会などのイベントを企画します。この機会にミニ同期会・クラス会・クラブ同好会懇親会(事前予約制)などにぜひご利用ください。尽性園桜まつりの詳細が固まり次第、ホームページにてご案内します。❤️👉

👉 尽性園桜まつり実行委員会



■「第31回東京校歌祭」に参加して

冬晴れの12月3日(日)、「東京校歌祭」は、国立オリンピック記念青少年総合センター大ホール(参宮橋)にて開催されました。出場校は18校、九段は後半最初の出演でした。現役生プラスバンドの演奏をバックに、現役合唱部も加わり総勢約50名で「校歌」、「至大荘歌」、「至大荘と共に」3曲を歌いました。



当日はまず小ホールに集合し熱心にリハーサル。大きく声を出し、少しずつ本番への期待が膨らみます。リハーサル後そのまま舞台袖に移動、緊張が否応なく高まります。第一東京市立中学校・都立九段高校・千代田区立九段中等教育学校の3本の「大幟旗」と「菊友会旗」を擁して舞台に進みます。至大荘游泳助手を務めた若手5名も駆けつけ、伊藤直司理事(高27)の自校紹介で開演、他校を圧倒する元気な歌声をホールいっぱいに響かせ、拍手喝采に包まれました。やはり至大荘歌を歌うと九段の素晴らしい伝統を感じます。

今年は10月27日(日)、杉並公会堂にて開催の予定。ぜひ多数のご参加で、ともにあの頃を振り返りましょう。
(篠原慎一・高27)

■ 秋の菊友ゴルフ大会

11月16日(木)、秋晴れの爽やかな天候の中、第76回菊友ゴルフ大会が佐倉カントリー倶楽部にて開催されました。参加者は21名。高9～33回生までが集い、和気あいあいと楽しくプレーし、終了後の表彰式も大いに盛り上がりました。優勝は武田雅利さん(高19)、一昨年秋の大会に続き2年連続優勝となりました。次回は4月石坂ゴルフ倶楽部で開催予定ですので、お1人でも同期のお仲間とでも、気軽にご参加ください。
(伊藤洋子・高24)



投稿ページ ～同期会・クラス会・OB/OG会など

ご投稿ありがとうございます。一部短縮編集させていただきました。

高3 11/8(水) 第33回菊朋会同期会

出席者は、昨年より4名減って12名でしたが、91歳という年齢を考えると、皆よく出て来たと言えるでしょう。行方会長の開会挨拶に続き、特別参加の菊友会・福井理事のお話があり、昼食・懇談のあと各自3分間スピーチで近況を語り合いました。最後に、福井理事から、来年は母校創立100周年にあたるので、この素晴らしい会をぜひ続けてほしいとの要請があり、来年も頑張ることにしてお開きとなりました。
(中川 繁)

鍛冶・服部・長谷川諸兄も旅立ち、検討した結果、我々も90歳、今回をもって最終回と決めた次第。当日集まったのは何と9名、想定はしていたもののやはり90歳の壁は高かった！しかしマスコミ・作家として活躍している小林昌彦君、生命倫理の第一人者木村利人君、麴(糀)菌の第一人者一島英治くんのミニ講演と参加者全員の第二の青春時代をどう過ごすかのスピーチで大いに盛り上がり、何事にも興味を持ち、後輩に情報発信し、残された余生を「笑顔」と「謙虚」さを忘れずに人生100歳の時代、105歳を目標に楽しく「幸せなら手をたたこう」(木村利人君作詞)で締めくくりました。
(高野光正)

に、彼が作詞を補訂した「至大荘と共に」を聴きながら閉会としました。(尾羽澤正敏)



高4 9/27(水) 至高会最後の同期会

我々高4回生は昭和21年4月最後の旧制東京都立九段中学校23回生として250名入学しました。翌年学校制度改革により、新制都立九段高等学校併設中学校として2年間、後輩入学者もなく、24年4月都立九段高等学校第4回生として新たに100名入学、特筆すべきは初めて男女共学制度導入で女性10名が入学し同期生は350名となりました。27年に卒業。記録に抛ると卒業2年後今は亡き鍛冶利秀君・服部嘉夫君が発起人となり「第1回至高会」が開催されています。恐らくこれ程長く中断もなく続いた同期会は珍しいと思います。同期会の中にも「囲碁会」「旅行会」「ゴルフ会」「靖国至高会」等分科会があり「靖国至高会」は令和元年まで開催されています。



高7 11/11(土)秋の79会同期会

まもなく米寿(88)を迎える7回生諸氏は、残念ながらさすがに老化の進みは急で身体の不具合で欠席の方も多く見られ、それでも15名の元気なお顔を見ることができました。会食歓談を楽しみながら、若さ溢れ意気盛ん、今春4月、「九段高7回生米寿記念会」の開催を決め期待に希望を膨らませました。多数のご参加を期待しています。
(宮島 徹)



よくも70年間も続いたものと感心しています。多い時は100名近く参加していた時期もありました。

多くの仲間が75歳を過ぎたころから段々と参加者が減り、4年前の66回は31名まで減りました。幹事さんの手間を考慮し、継続か否か次回決めようとしていた矢先のコロナ禍で4年間中断、万年幹事役の

高9 9/9(土) 66周年九九会同期会

コロナ禍のため開催できなかった同期会を、5年ぶりに、いつもの飯田橋駅近くの東京大神宮マツヤサロンで開催しました。九段を卒業して66年が経ち、85歳の老体に足下おぼつかない中、男女43名が集合。5年間に亡くなった27名に、校歌と至大荘歌を歌って見送りました。その中に、作家として超有名な「なかにし礼」がおり、最後

高13 5/31(水) 60+2周年同期会

コロナの影響で4年ぶりに卒後60+2周年記念同期会をアルカディア市ヶ谷で開催、傘寿を迎えた56名が昼食会に参加し



ました。冒頭、物故者への黙禱、菊友会理事から祝い金を頂戴した後は開会挨拶・乾杯で若き時代へタイムスリップするのに時間は掛からず、2時間はあっという間に過ぎ、至大荘歌・校歌で盛り上がり、来年の再会を誓って散会となりました。

(馬淵義彦)

高17 6/22(木) やっとやったぜ！同期会

2019年秋開催した前回同期会、お開き前に「次の同期会は我々2組が当番幹事です。次回は1年半後の2021年の春に開催しま〜す。どうぞそれまで皆さん元気で、そして奮ってご参加ください〜い」と宣言したものの直後に始まったコロナ騒動、1組から渡されたバトンを握り締め、さあどうしたものかと3年余り、やっとコロナが2類から5類へ格下げ？の報に接し「やっっちゃえ！」と2023年6月22日銀座で決行、川田節子先生、増田三郎先生、並びに菊友会理事にご臨席いただき、出席者の心配をよそに前回は少し上回る77名。3組に何とかバトンを繋ぎました。「フウ〜」

(松長一郎)



高19 10/28(土) 4年ぶりの同期会

海外からの参加も含め97名で、恩師の太田・増田両先生をお迎えして4年ぶりに盛大に開催されました。コロナ禍明けでもあり、太田先生は3件の同期会の掛け持ちとのことで途中からの参加、九段への赴任時の話などを当時の生徒とのエピソードを交えてお話しされ、増田先生は至大荘での遠泳の話を中心にされました。各クラス毎やクラブの仲間との話で盛り上がり、予定していた校歌と至大荘歌を歌う時間も無くなり、お開きになりました。(守 栄一)



卒業50周年記念同期会 高25 9/23(土)

ホテルグランドヒル市ヶ

谷にて、高25回生卒業50周年記念同期会が開催されました。受付で各種お楽しみグッズを受け取り会場へ。その場で支払うことのできる菊友会費納入コーナーも開設。コロナの影響もなんのその、参加者はV字回復で140余名。近藤義郎、岡本毅、村木逸子の3先生の出席を賜りました。25回生への生物の授業が当時の最先端だったこと。DNA、RNAの螺旋階段を、解っても解らな



くてもいいから、今後の高等教育(つまり大学以上)の礎として、九段生に叩き込んでおこう！という、太田先生の素晴らしい目論見にまんまと私たちが実験台になったいきさつ等々、岡本先生が熱弁。同期会皆勤賞、初めての参加、20年ぶり…等々の懐かしい面々と楽しいひと時。3時間はあっという間、岡本先生の「100歳まで元気で！」のお言葉を胸に、再会を誓い合い解散。

(今田恵美)

高34 9/9(土) 3年6組映画上映会

+クラス会

1981年の九段祭大賞に選ばれたクラス製作の8ミリ映画『過去(ゆめ)蒼く…』。行方不明になっていた映画フィルムが、主演を務めた岩山靖君の4年前の葬儀をきっかけにある級友宅から発見されました。今年、連絡がとれた級友20人が東京・神田の貸会議室に集合。映像製作会社に勤める小林昭旨君が古いフィルムに当時使用の音楽も加えてDVDに加工・再生させた映画を42年ぶりに鑑賞しました。映画のキャスト、スタッフが、高校3年生の夏休み、撮影を繰り返し、編集作業に苦勞し、パンフレット・字幕作りに汗を流した日々を思い返していました。1時間で上映終了、会場はわき起こった大きな拍手に包まれました。その後、個室居酒屋で「還暦祝い」のクラス会

を開催。手作りの「青春の映画」に触発された皆の思い出話が、深夜まで尽きることはありませんでした。(市田 隆)

高38 10/14(土) '86年卒は37周年！同期会

秋空の下、昨年新装開業したばかりの九段会館に九段大好き人間108人が7年ぶりに集合しました！いつもの様に同期会名物エンジの水禪と体育祭ハッピー姿の西秋が瞬発力で司会進行。今回体育祭4団長のうち井上・大場・小高の3人が揃い、また懐かしの恩師生物の飯沼美雄先生と数学の石田典昭先生をお招きし、みんな「あの頃の教室」に戻っていました。この歳にもなれば世間で言う偉い人もいるけれど、ここではあの頃のまま皆平等で遠慮なし！15時に始まった3時間の授業はアツと言う間に終わり、黄昏のころ70人以上を引き連れ放課後へ。夕闇に包まれた貸切テラスでも談笑の渦は衰えません。つくづく好きだ！この仲間たち。次は4年後に還暦記念かなあ。

(佐々木幸一)



逝去

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
前号以降にご逝去が判明した方々(敬称略)

会員専用ページでの掲出とします。

維持会費納入のお願い

菊友会の活動は、会員の皆様からの維持会費により運営されています。

菊友会は九段校の同窓会で、九段を卒業すると自動的に菊友会会員となります。在校生の支

援を進めながら九段の歴史と伝統を次世代へ継承していくというこの会の趣旨をご理解いただき、ぜひ会費のご納入をお願いします。

(会計委員長 鈴木康雄・高24)

理事会だより

定例の理事会は毎月第2金曜日に母校にて開催しています。ここに2023年6月度から11月度の各月の報告をします。年間の活動や予算の計画、会報やホームページ(HP)の作成・運用などにつき毎回活発な議論がなされています。HPと併せて当会の活動にご理解を深めていただければ幸いです。

●2023年6月度(6/9実施)●

※議事に先立ち、至大荘助手会高橋会長(高42)らより練習状況の説明等。【報告事項】①5/19体育祭実施、理事2名出席。②5/20評議員会開催、2023年度予算案は付帯条件付きで承認。③至大荘懇親会プレゴルフ大会は予約完了。④校歌祭準備委員会報告。九段は午後1番目。⑤会報111号の出力紙確認。⑥事務局開室時間をコロナ前と同じ火・金 10:30～16:30に変更。⑦6/28伝統継承HR、担当者確認。⑧会計報告:中等14回生入会金 345千円/69名(中等13回生入会金 370千円/74名)維持会費納入状況:866千円/317名(2022年 649千円/244名/2021年 568千円/220名)【審議事項】①評議員会で付帯条件付きで承認された2023年度予算案の菊友会大会収支について、会費9千円/人で85千円収入減、55千円の経費超過で承認。②至大荘懇親会案内状の内容を承認。

●2023年7月度(7/14実施)●

【報告事項】①6/28、1年生への伝統継承HRを実施。②至大荘行事日程。第1期:7/31～8/2、第2期:8/3～8/5。③至大荘懇親会:7/4に過去参加者に案内状・メール発送済み。締切は8/4。④会報111号の経費合計1,481,095円。⑤理事のプレ至大荘見学報告。【審議事項】校歌祭パンフ掲載の菊友会広告デザインを承認。

●2023年8月度(8/4実施)●

【報告事項】①6年生への菊友会入会説明会は9/20。出席理事4名確認。

②至大荘懇親会:参加申込69名。

③プレゴルフ大会:17名参加申込。

④校歌祭準備委員会報告。演目は「校歌・至大荘歌・至大荘と共に」。⑤至大荘行事の報告をHPに掲載。⑥7/29至大荘寮開き。前期女子、後期男子。2泊3日の短縮行事となり遠泳は小規模に。

●2023年9月度(9/8実施)●

【報告事項】①至大荘懇親会の報告、参加61名。来年から理事の前泊を検討。②プレゴルフ大会報告:6組20名参加。参加者若返りを検討。③9/16～17九段祭通常実施、理事取材。④保護者への菊友会入会説明は10/28。参加理事確認。⑤菊友会大会HP用原稿、案内葉書の内容確認。近日中にHP掲載、過去参加者約200名に案内を送付。⑥校歌祭準備委員会報告。パンフ掲載確認。⑦会報第112号の編集会議開催、編集方針決定。⑧尽性園桜まつり実行委員会の活動再開。⑨尽性園に菊友会と法人九段から桜を植樹(11月を予定)。

●2023年10月度(10/13実施)●

【報告事項】①9/20、6年生の菊友会新入会の説明実施。②9/28、菊友会大会会場を下見。懇親会参加申込85名。③秋の菊友ゴルフ大会の開催日訂正通知を送付報告。④校歌祭準備委員会、吹奏楽部顧問と初打合せ実施。⑤会報第112号(1月発行)の構成と執筆担当案。⑥10/5第1回尽性園桜まつり実行委員会ZOOM会議を実施。⑦9/27高4回最後の同期会「至高会」開催、参加者9名。

事務局からのお知らせ

コロナによる制限が外れ、校舎の中で生徒さんたちの大きな声が聞こえてくるようになりました。また、菊友会行事の準備や同期会のお手伝いもできるようになり、改めて通常生活に戻ってきたことを実感し、嬉しく思う事務局です。

◆事務局開室日:毎週火・金曜日 10:30～16:30

◆年始開室:1月9日(火)

◆事務局休日:2月6日(火)(適正検査等で入校できないため)変更がある場合は、ホームページでお知らせしますのでご確認ください。なお、住所を変更された場合は、事務局へのご連絡を忘れずをお願いいたします。

Tel: 03-3263-2448(時間外は留守番電話に用件をお残しください)

Fax: 03-3263-1033 / 〆info@kikyukai.com(24時間受付)

2023年度維持会費(2023年4月～2024年3月)

中学 1回～高校 1回～中等 9回 3,000円
中等10回～中等14回(減額期間) 1,000円

●郵便振替(現金支払いの場合は1件110円の手数料をご負担ください。通帳・キャッシュカード利用の場合は発生しません)

※住所・氏名・電話番号・卒業回・個人コード(会報封筒に印字されている番号)をご記入願います。

※2023年12月8日現在で、今年度維持会費未納の方には維持会費納入票を同封いたしました。

●銀行振込(振込手数料をご負担ください)

三菱UFJ銀行 神保町支店 普通口座:0691551

みずほ銀行 九段支店 普通口座:1453238

三井住友銀行 神保町支店 普通口座:2111680

りそな銀行 九段支店 普通口座:1413234

ゆうちょ銀行 ○一九店(ゼロイチキョウ店) 当座:0504525

※口座名義はすべて菊友会です。銀行から納入する場合、個人コードと振込人名を入れてください。

●2023年11月度(11/10実施)●

【報告事項】①10/22グランドヒル市ヶ谷にて菊友会大会開催、決算および課題報告。来年度は日程調整中。

②10/28、6年生保護者に菊友会の入会金納入依頼(25名から125千円受領)。

③校歌祭実行委員会より吹奏楽部顧問との打合せ報告。

④菊友会報112号は鋭意編集集中。

⑤11/29尽性園桜植樹式。

⑥福井理事の提案(入会勧誘の件)は小委員会で内容検討。

⑦11/5関西菊友会総会、菊友会からの出席者確認。

⑧同期会隣席

報告(高3回、高19回)。

⑨母校100周年は中等20周年と同時開催検討中。

⑩会計報告:中等15回生入会金 240千円/48名(中等14回生入会金 345千円/69名)。

維持会費納入状況について:4,874千円/1,649名<2022年 4,905千円/1,703名

2021年 5,043千円/1,725名>

【審議事項】①新理事候補2名、佐藤敬子氏、長島三枝氏(ともに高27)を承認。

②校歌祭関連(司会者、各種費用等)を承認。

③令和5年度卒業生向け図書カード贈呈の件を承認。

菊友会報のデザイナーを募集します

会報は、「広報委員会」が編集・制作しています。このたびは会報誌編集に興味ある方を募集し戦力増強を図ります。仕事は、レイアウト・デザインアプリ(InDesign等)を使い広報委員が取りまとめた原稿や写真を8ページに割り付ける作業です。些少ですが謝礼も用意します。編集関連の経験者である必要はありません。ご興味のある方は、事務局までメールまたは郵送でお問い合わせください。

寄稿のお願い 次回締切りは5月10日(金)

次回菊友会報113号に原稿をお寄せください。同期会/クラス会/OB・OG会開催の楽しい報告や母校の思い出など、250字程度で事務局までメールまたは郵送してください。中等卒業の若い方々の投稿大歓迎です。

編集後記

菊友会活動に携わり丸3年。コロナ禍と重なり、この間の活動は不完全燃焼とならざるを得ませんでした。制約の多い環境下、リモート会議等の手段を駆使し、菊友会活動を何とか継続し更に深化させようという理事各位の熱意と行動力には何

度も心を打たれる場面がありました。それは母校愛がエネルギーに違いありません。言い換えれば多感な時期に九段を共有した連帯感、そして九段で得

た良き思い出を何とか現役生

徒、将来の生徒にも体感して欲しいとの熱い気持ちです。

最近はやうやく正常な世に戻りつつあります。コロナという外圧に抗して頑張った菊友会

も外圧が薄らぎ活動の積極化を目論んでいますが、次に必要なのは内圧です。内圧とは菊友

会会員/九段の教員・生徒の声です。ご意見・ご提案をお寄せください。皆様のお声が菊友会の

次の100年を築く推進力となります。よろしくお願ひいたします。

(瀬戸川隆・高25)